

アカデミー構内の劣化とメンテナンス

En 2 齊藤蒼良

1 研究の動機

アカデミー構内のウッドデッキが痛んでいるのを見て、どのようにメンテナンスをしているか気になったため

アカデミーのメンテナンスといえは？

10年以上アカデミーの補修をしている事務員の多賀さんに話をきくことに

2 調査内容

Q.痛みやすい場所は？

A.

- ・雨が当たる場所全体や釘やビスを打った穴
- ・材の痩せて釘が浮いた場所
- ・表面は綺麗でも内側や根太だけ腐っていることがある



Q.最近気にしていることは？

A.

- ・設置の際に木裏を上にして設置すること。
- ・ひび割れやそりが少ないため、修繕の際は木裏を上になっている。



凹に反る

多賀さんは
こっち



凸に反る

床板の劣化率に差あり

3 まとめ

- ・多賀さんのメンテナンス技術や工夫を知ることができた。
- ・木材だけの利用だけでなくWPCや鉄も使っていることを知った。

今後

- ・多賀さんの中だけで完結している情報が多数あり、まだまだ聞けていないことがあるため、さらに深い質問をすることで情報の共有をしていきたい。
- ・多賀さんが行っているアカデミーの修繕のマニュアルを作成したい。
- ・今回ピックアップした場所以外の原因と対策も考えてみたい。

多賀さんに聞いて分かったアカデミーの傷んでいる場所

- ・フォレスト棟側の橋の裏側
- ・アカデミーの正面階段の下側
- ・ウッドラボ前のウッドデッキ (主に床板)

【フォレスト棟橋】

状況

- ・裏表共に塗装がされていない・雨にも直接当たる
- 真小川からあがってくる湿気

対策

- ・できるなら屋根の設置・水はけを良くする (排水機構)
- ・板を取りかえる際に防腐処理、塗装を施す
- ・木材以外の他部材も上手に使う



【アカデミー棟正面階段】

状況

- 橋と同様小川から上がってくる湿気と直接雨にあたる
- 踏板は定期的に交換しているが側桁などの腐朽には対応していない

対策

- 定期検査を行い、安全かどうか確かめる
- ・塗装、部材の交換の実施
- ・WPC (木材とプラスチックの複合化材料) の利用



【ウッドラボ前デッキ】

状況

- ・夜露による結露 ・おちばなどが隙間に入り水をためている

対策

- 隙間に木くずなどを残さないようにする
- 防腐処理と塗装 他部材の利用 (アルミ)

